

2026/10/16（予定） 機能追加

取引先ごとに設定した計算式で、値引や支払調整額（安全協力会費など）を自動計上したい 他 29 件

Ver.260930

法人情報

取引先ごとに設定した計算式で、値引や支払調整額（安全協力会費など）を自動計上したい

[「支払消込」メニュー](#)で支払伝票作成単位を「支払予定」または「債務伝票」にして消込する場合に、あらかじめ設定した計算式をもとに、値引や支払調整 1～6 を自動計上できるようになりました。

また、[F9：一括変更]で一時的に計算式を設定し、値引や支払調整 1～6 を自動計上することもできます。

あらかじめ計算式を設定する場合は、[支払消込調整方法]メニューで設定します。

支払消込調整方法は複数パターン登録でき、[「精算先」メニュー](#)／[「仕入先」メニュー](#)の[支払]ページで、取引先ごとに適用する支払消込調整方法を設定できます。

これにより、取引先ごとに異なる値引や支払調整額の計算ルールに対応できます。

追加メニュー

[法人情報 - 規程 - 支払消込調整方法]メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[取引先管理 - 精算先 - 精算先]メニュー／[取引先管理 - 仕入先 - 仕入先]メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 支払消込]メニュー（支払伝票作成単位が「支払予定」または「債務伝票」の場合）

セグメントの最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、セグメントを 99,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、[「スペック」](#)をご参照ください。

対応メニュー

[法人情報 - セグメント - セグメント1]メニュー

[法人情報 - セグメント - セグメント2]メニュー

プロジェクト・プロジェクト区分の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、プロジェクトを 999,999 件まで、プロジェクト区分を 99,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、[「スペック」](#)をご参照ください。

対応メニュー

[法人情報 - プロジェクト - プロジェクト]メニュー

[法人情報 - プロジェクト - プロジェクト区分]メニュー

任意項目の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、任意項目を 999,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔法人情報 - 摘要 - 任意項目〕メニュー

取引先管理

仕入先・仕入先区分・取引先グループの最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、仕入先を 999,999 件まで、仕入先区分・取引先グループを 99,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔取引先管理 - 仕入先 - 仕入先〕メニュー

〔取引先管理 - 仕入先 - 仕入先区分〕メニュー

〔取引先管理 - 取引先グループ - 取引先グループ〕メニュー

商品管理

商品の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、商品を 999,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔商品管理 - 商品 - 商品〕メニュー

価格管理

算出価格の最大登録件数を変更

奉行V ERP

『マスター件数拡張オプション』をご利用の場合に、算出価格を 999,999 件まで登録できるようになりました。

詳細は、「[スペック](#)」をご参照ください。

対応メニュー

〔価格管理 - 取引単価 - 算出価格〕メニュー

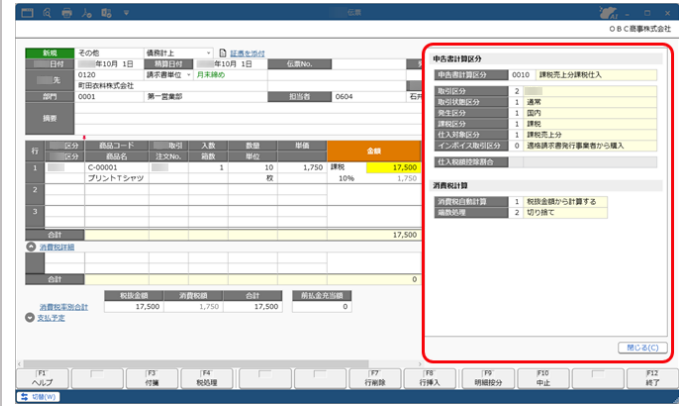
伝票

税処理画面の表示位置を、入力中の明細付近に変更

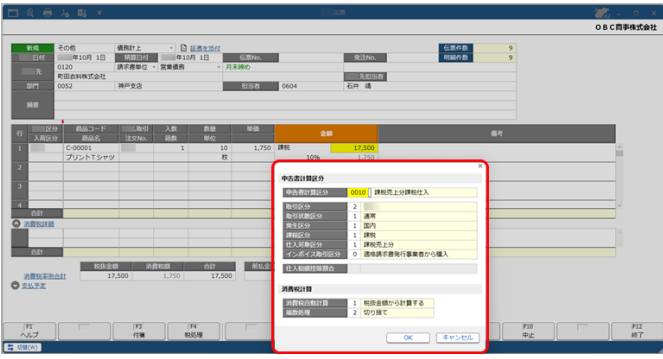
伝票で〔F4：税処理〕を押して表示される税処理画面の表示位置を、以下のように入力中の明細の項目付近に変更しました。税処理画面はお好きな位置に移動できます。

これにより、消費税を設定する明細を確認しやすくなりました。

変更前



変更後



対応メニュー

- 「仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票」メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
 - 「債務管理 - 精算処理 - 債務伝票」メニュー
 - 「債務管理 - 支払処理 - 支払伝票」メニュー
- など、税処理画面を表示できるすべてのメニュー

明細の仕入税額控除割合の表示位置を変更

各伝票の金額欄に表示される仕入税額控除割合の表示位置を、『勘定奉行クラウド』の仕訳伝票と同じ位置に変更しました。

製品間で表示位置が統一され、確認しやすくなりました。

変更前

金額	
課税 控70	1,100
10%	(70)

変更後

金額	
課税	1,100
控70 10%	(70)

対応メニュー

- 「仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票」メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
 - 「債務管理 - 精算処理 - 債務伝票」メニュー
 - 「債務管理 - 支払処理 - 支払伝票」メニュー
- など、仕入税額控除割合が表示されるすべてのメニュー

即時支払時に、購入処理区分の支払方法を使用する設定を追加

Sシステム

奉行V ERP

債務計上と即時支払で異なる支払方法を使用する場合などに、購入処理区分に設定した支払方法を、即時支払の支払方法として初期表示する設定を追加しました。

[「債務管理規程」メニュー](#)の「仕入管理」ページで、「仕入先の「精算」ページで指定した支払方法を使用する」のチェックを外すと、[「精算先／仕入先」メニュー](#)の「仕入」ページの「即時支払 - 支払方法」が未設定の場合に、購入処理区分に設定した支払方法を初期表示できます。

詳細は、目的から探す「[購入債務仕訳・支払仕訳の科目の決まり方](#)」をご参照ください。

対応メニュー

- 「法人情報 - 規程 - 債務管理規程」メニュー
- 「仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票」メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から「汎用データ受入 - 仕入管理 - 仕入伝票データ受入」メニュー

債務管理

『奉行Smart/奉行11』 からコンバートした伝票を複写時に、自動で仕訳作成対象に変更

奉行V ERP

『奉行Smart/奉行11』 からコンバートした伝票は仕訳作成の対象外として登録されますが、その伝票を複写して新規登録する伝票は、自動で仕訳作成の対象となるようになりました。

コンバートした伝票を複写した際は、以下の項目が自動で変更されます。

項目	変更内容
仕訳伝票作成対象	対象外 → 対象
証憑連携	しない → する
購入摘要	仕訳伝票No.XX → クリア

対応メニュー

〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー

ファクタリング会社を仕入先・精算先・出金先として入力可能

Sシステム

奉行V ERP

[「精算先」メニュー](#)／[「仕入先」メニュー](#)で種別を「1：ファクタリング会社」として登録した取引先を、仕入伝票の仕入先や、債務伝票の精算先、支払伝票の出金先として入力できるようになりました。

[「精算先」メニュー](#)／[「仕入先」メニュー](#)では、ファクタリング会社についても、精算先として使用する各項目を入力できるようになりました。

これにより、ファクタリングで支払う買掛金をファクタリング会社に対する債務として計上できます。

対応メニュー

〔取引先管理 - 精算先 - 精算先〕メニュー／〔取引先管理 - 精算先 - 仕入先〕メニュー
〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票〕メニュー
〔債務管理 - 受領請求書 - 精算伝票〕メニュー（『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
〔債務管理 - 精算処理 - 債務伝票〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払情報〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー
その他、債務伝票・支払伝票を作成する各メニュー

〔相殺消込〕・〔相殺伝票〕メニューの位置を変更

債権奉行

[「相殺消込」メニュー](#)と[「相殺伝票」メニュー](#)のメニュー構成を、以下のように変更しました。

相殺消込後に請求締めをする処理の流れに沿った構成になりました。

変更前	変更後
〔債務管理〕 - 〔精算処理〕 … - 〔精算締め〕メニュー … - 〔ネットting〕 - 〔相殺消込〕メニュー - 〔相殺伝票〕メニュー	〔債務管理〕 - 〔精算処理〕 - 〔ネットting〕 - 〔相殺消込〕メニュー - 〔相殺伝票〕メニュー - 〔精算締め〕メニュー

仕入先元帳で、消費税の調整伝票（消費税伝票）も購入処理区分ごとに集計したい

Sシステム

奉行V ERP

精算締め時に作成される消費税の調整伝票（消費税伝票）に、締め対象の仕入伝票に応じて、購入処理区分が自動でセットされるようになりました。〔F9：消費税〕を押して確認・変更ができます。

これにより、[\[仕入先元帳\]メニュー](#)で購入処理区分ごとの金額を確認する際に、消費税伝票も含めて集計できるようになりました。

対応メニュー

〔債務管理 - 精算処理 - 精算締め〕メニュー

支払消込で支払調整額を自動計算する際に、端数処理の単位を指定したい

[\[支払消込\]メニュー](#)の〔F9：一括変更〕で、未消込額に対する割合（%）を指定して支払調整 1 ～ 6 を自動計算する際に、端数処理の単位を指定できるようになりました。

対応メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払消込〕メニュー

銀行振込データの計行に振込件数を表示

[\[銀行振込\]メニュー](#)で、画面上段「法人口座」の計行に振込件数が表示されるようになりました。

対応メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 銀行振込〕メニュー

裏書譲渡の支払伝票を支払区分「非連結」で登録可能

Sシステム

奉行V ERP

『債権奉行 i クラウド』の『Sシステム』または『債権奉行V ERPクラウド』をご利用の場合に、支払区分が「非連結」の支払伝票でも、てん末を「譲渡」にした電子記録債権・ファクタリング・手形での支払いを登録できるようになりました。当サービスで買掛金の消込管理をしていない場合は、債務伝票を登録する手順が不要になります。

対応メニュー

〔債務管理 - 支払処理 - 支払伝票〕メニュー

管理帳票

管理帳票で「購入処理区分」で絞り込んだ金額を確認したい

Sシステム

奉行V ERP

[\[仕入明細表\]メニュー](#)などの管理帳票で、「購入処理区分」を集計軸項目や絞込条件に指定できるようになりました。

対応メニュー

〔仕入管理 - 仕入処理 - 仕入明細表〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 支払一覧表〕メニュー

〔債務管理 - 管理帳票 - 支払集計表〕メニュー

仕入先元帳の計行に、金額が 0 円の購入処理区分を表示したくない

Sシステム

奉行V ERP

[\[仕入先元帳\]メニュー](#)で、金額が 0 円の購入処理区分の計行を表示するかを選択できるようになりました。

購入処理区分「現金仕入」「未払買入」「現金買入」の金額が 0 円で計行を表示したくない場合は、〔仕入先元帳 - 条件設定〕画面の〔詳細〕ページで、月計行・小計行・合計行ごとに「金額が 0 の処理区分を表示する」のチェックを外します。

対応メニュー

〔仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳〕メニュー

銀行振込一覧表を振込先別に集計する際にインデックス順やカナ順で出力可能

〔銀行振込一覧表 - 条件設定〕画面の〔基本〕ページで、集計軸項目に「出金先」を含めず、「振込先」を指定にした場合に、〔出力〕ページの出力順に「振込先コード順」「振込先インデックス順」「振込先名カナ順」が追加されました。

[\[銀行振込一覧表\]メニュー](#)では、その他に以下の機能も追加されました。

- 〔銀行振込一覧表 - 条件設定〕画面の〔基本〕ページで、表示項目を「振込先」にした場合は、印刷でも振込先コードが出力されるようになりました。

- データ作成時に口数を出力できるようになりました。

出力する場合は、画面の左上にある（データ作成条件設定）をクリックし、〔銀行振込一覧表 - データ作成条件設定〕画面の〔基本〕ページで「口数を出力する」にチェックを付けます。

（画面の左上に（データ作成条件設定）がない場合は、をクリックして追加します）

対応メニュー

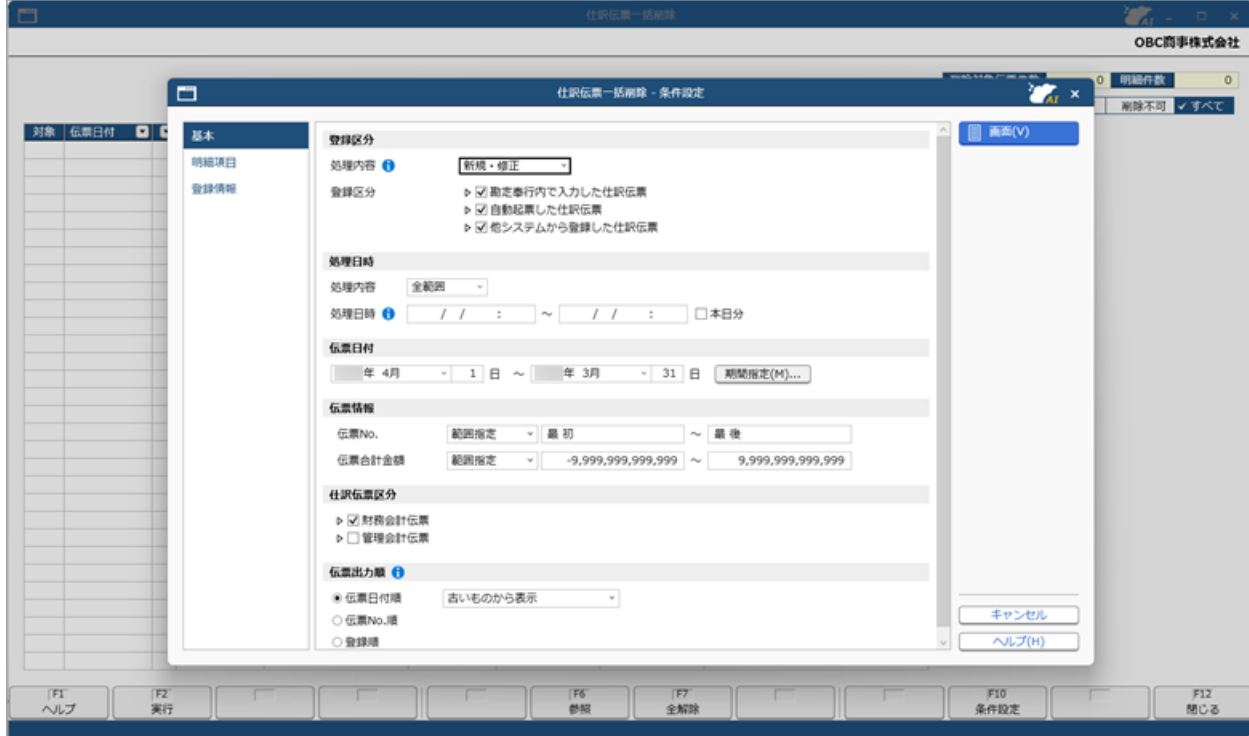
〔債務管理 - 管理帳票 - 銀行振込一覧表〕メニュー

奉行AI

「奉行AIチャット」からのメニュー起動に対応

「奉行AIチャット」で、AIの回答に表示されたメニュー名をクリックして、メニューを直接起動できるようになりました。





（『勘定奉行クラウド』の画面です。）

発行請求書DXクラウド

発行請求書DX

『郵送代行オプション』に、FAX代行サービスを追加

郵送代行

『郵送代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』に、帳票をお客様に代わってFAX送信するサービス（FAX代行サービス）を追加しました。FAX代行業者の設備を利用して、仕入先へFAX送信できます。

これに伴いオプション名を『郵送代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』から『郵送/FAX代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』に変更しました。

- 『郵送/FAX代行オプション for 奉行Edge 発行請求書DXクラウド』を初めて利用する場合は、別途「株式会社電算システム」（郵送／FAX代行業者）との契約が必要です。
- FAX送信時には費用がかかります。

帳票を仕入先へFAX送信するには、ダッシュボード「帳票配信状況」カードの[「帳票配信」画面](#)から配信します。帳票のPDFがFAX代行業者へ送信され、仕入先へFAX送信されます。また、スケジュール配信にも対応しています。

対応メニュー

〔取引先管理 - 精算先 - 精算先〕メニュー／〔取引先管理 - 仕入先 - 仕入先〕メニュー
〔債務管理 - 精算処理 - 支払明細書〕メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
〔債務管理 - 精算処理 - 債務残高確認書〕メニュー
〔債務管理 - 支払処理 - 支払通知書〕メニュー
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの「帳票配信」画面
ダッシュボード「帳票配信状況」カードの「任意ファイル」

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から〔汎用データ受入 - 取引先管理 - 精算先データ受入〕メニュー／〔汎用データ受入 - 取引先管理 - 仕入先データ受入〕メニュー

受領請求書DXクラウド

受領請求書DX

Peppolの「区分記載請求書（免税事業者向け）」の受信に対応

[\[デジタルインボイス受信\]メニュー](#)で、Peppol（デジタルインボイス）の免税事業者向け請求書「JP BIS Invoice for Non-tax Registered Businesses（区分記載請求書）」を受信できるようになりました。

対応メニュー

〔法人情報 - 規程 - 債務管理規程〕メニュー
〔債務管理 - 受領請求書 - デジタルインボイス受信〕メニュー

請求書用AI-OCRで、明細行の読み取り機能を追加

請求書用AI-OCRで、明細行を読み取れるようになりました。

- 読み取れる項目は、日付・取引内容・数量・単価・金額です。
- 読み取った項目は、精算伝票の明細行に直接表示されます。なお、証憑項目との関連付けはされません。

メインメニュー右上の（設定）から〔運用設定〕メニューの〔受領請求書〕ページを開き、機能を有効にできます。

対応メニュー

〔債務管理 - 受領請求書 - 証憑アップロード〕メニュー
〔債務管理 - 受領請求書 - 精算伝票〕メニュー
Webアプリの〔証憑アップロード〕メニュー（内部的に明細行を読み取り、アップロードします。）

メインメニュー右上の（設定）から〔運用設定〕メニュー

Peppolの「金額」と精算伝票の「精算額」が不一致の場合に、精算伝票を登録できないように変更

[\[デジタルインボイス受信\]メニュー](#)でPeppolから精算伝票を登録する際の差額のチェック方法が変更されました。
今までは、**証憑項目の「金額」**と精算伝票の「精算額」に差額がある場合に警告を表示し、差額がある状態でも精算伝票を登録できました。

変更後は、**Peppolの「金額」**と精算伝票の「精算額」に差額がある場合に警告を表示し、差額があると精算伝票を登録できないようになりました。

これにより、Peppolで受信した金額と精算伝票の精算額の不一致を防止できます。

対応メニュー

〔債務管理 - 受領請求書 - デジタルインボイス受信〕メニュー
〔債務管理 - 受領請求書 - 精算伝票〕メニュー

精算明細表で仕入税額控除割合ごとの消費税額の出力方法を変更

[\[精算明細表\]メニュー](#)で、仕入税額控除割合ごとの消費税額は、「消費税額（10%）」などの税率ごとの項目と「仕入税額控除割合」を組み合わせて出力するようになりました。

これにより、仕入税額控除割合ごとの消費税額を一覧で確認しやすくなりました。

また、これに伴い、「消費税額（10%）控80」などの仕入税額控除割合80%用の消費税額項目を廃止しました。

対応メニュー

〔債務管理 - 受領請求書 - 精算明細表〕メニュー

PDFファイルをアップロードできる『奉行Edge』スマホアプリを追加

『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』で、PDFファイルのアップロードなどに対応した『奉行Edge』スマホアプリをご利用いただけるようになりました。

これまでご利用いただいていた『証憑収集オプション』スマホアプリに比べて、以下の機能が追加されています。

- PDFファイルのアップロード
- 部門や購入科目などの精算伝票の明細項目の入力
- Webアプリ、PCアプリからアップロードした証憑の承認
- プッシュ通知でのお知らせ
- 多言語表示に対応

『証憑収集オプション』スマホアプリも引き続きご利用いただけますが、上記機能をご利用になる場合は、『奉行Edge』スマホアプリをご利用ください。

補足

『奉行Edge 勤怠管理クラウド』などで『奉行Edge』スマホアプリをすでにご利用の場合は、受領請求書DX（支払精算）サービスを追加してご利用いただけます。

Webアプリの各メニューで、項目名などの多言語表示に対応

Webアプリの各メニューで、項目名や選択肢を多言語（英語、ベトナム語、中国語（簡体字）、インドネシア語、ミャンマー語、ポルトガル語、韓国語、タイ語、スペイン語）で表示できるようになりました。

Webアプリの （個人設定）内の「言語切替」メニューから言語を選択できます。選択した言語に応じて、項目名や選択肢が自動翻訳されて表示されます。

追加メニュー（Webアプリ）

メインメニュー右上の （個人設定）から「言語切替」メニュー

「運用設定」メニューのページ名の変更

メインメニュー右上の （設定）から「運用設定」メニューの以下のページ名が変更されました。

変更前	変更後
「精算」ページ	「精算処理」ページ
「証憑収集アプリ」ページ	「受領請求書」ページ

その他

伝票の種類ごとに最大明細件数まで登録できるように変更

今までは、最大明細件数を全伝票の明細件数の合計で計算していましたが、今後は伝票の種類ごとの明細件数で計算するようになり、登録可能な明細数が増えました。

例

最大明細件数が200,000件の場合

今まで：すべての伝票を合わせて200,000件まで登録可能

今後：伝票の種類ごとに200,000件まで登録可能

これに伴い、ダッシュボード「利用状況」カードには、登録済みの明細件数と最大明細件数が伝票の種類ごとに表示されます。

対応メニュー

ダッシュボード「利用状況」カード

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。